

# 平成27年度 学校評価報告書

○わかる授業の創造に努める	P. 1
○豊かな心の育成に努める	P. 5
○人権・同和教育の推進を図る	P. 7
○健康で安全な生活に努める	P. 9
○家庭・地域との連携と信頼関係づくりに努める	P.12
○教育環境整備と美化に努める	P.16
○保育所・小学校・中学校3者が連携した教育に努める。	P.19

江津市立桜江小学校

達成状況は、アンケート結果、実績値などの数値化によって考察し、評価は以下の2つの観点を併用しながら行う。

◆100%の達成率に対して、A：80%以上 B：60～79% C：40～59% D：39%以下 とする。

◆A：十分達成 B：ほぼ達成。一部に改善の余地がある C：一部に課題がある D：大きな課題がある とする。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

(1) わかる授業の創造に努める。

◆学習規律の確立の徹底（姿勢、聞き方、話し方、学習の準備、家庭学習）

◇望ましい授業態度の育成に努める。

・学びの十ヶ条

○「学びの十ヶ条」の徹底を図る。学期ごとに重点を決めて指導する。(担任からの聞き取り)	指導内容を教務部から示し、各学級の実態に応じて取り組んだ。	B	徹底が不十分で、各学級の取組も改善の余地がある。	B	学校全体で統一して取り組みたいことを精選し、学期ごとに重点を決めて取り組む。
○児童の自己評価も取り入れながら、意識化と定着を図る。(児童の自己評価)	自己評価は行ったが、分析し、次の課題につなげることができなかった。	B	児童の自己評価が正しくなされているのか、検討が必要である。	B	重点目標に対して学期ごとに自己評価させ、次の指導に生かす。

◇家庭での学習に関する意欲付けを行う。

・家庭学習の手引

○学期ごとに重点を決めて指導する。「家庭学習の手引」をもとに指導する。(担任からの聞き取り)	学級の実態に応じて取り組んだ。	B	「家庭学習の手引き」を利用しながら、自主学習の進め方など指導することが望まれる。	B	学期ごとに家庭学習チェック週間を設けて意識的に取り組ませる。
○児童の自己評価も取り入れながら、意識化と定着を図る。(児童の自己評価)	各学級の実態に応じて取り組んだ。	B	宿題の提出を確認することは大変な労力があるが、継続していただきたい。	B	学期ごとに家庭学習チェック週間を設けて意識的に取り組ませる。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆基礎・基本の充実

◇「読み」「書き」「計算」の力の確実な定着を図る。

・チャレンジタイム

○週に1回チャレンジタイムを設け、前学年までの復習を行い、基礎・基本の定着を図る。 (プリント解答率)	計算だけでなく、視写も行い、静かに集中して学習に取り組ませることができた。	A	新聞記事を利用した視写は、児童が集中して取り組み、幅広い知識を身に付けることに役立っており、さらに推し進めてほしい。	A	計算に加え、視写にも継続して取り組む。
--	---------------------------------------	---	--	---	---------------------

◇児童がわかったと実感できる授業を行う。

・めあての確認・振り返りの徹底・ノート指導の充実

・学び合う場の設定

・ICT機器の活用

○1時間の学習のめあてを明確にし、ふり返しを行う(担任からの聞き取り)	めあてについては、ほとんどの学習において明確にすることができた。振り返りについては、おおむね行うことができたが、時間が取れず不十分な時があった。	A	めあてを明確にすることはできているが、振り返りについては、その時間の確保をいつも頭に入れた授業が望まれる。	A	振り返り活動が充実できるように時間を確保する。
○ノート指導を行い、学習内容を振り返られるようにする。 (児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	めあては青、まとめは赤等の、具体的な書き方を教職員で共通理解し、ノート指導に取り組んだ。その結果、自分のノートを見ながら学習を振り返る児童の姿が見られるようになった。	A	ノート指導については、教職員が共通理解をして、一貫した指導になって効果をあげている。全教科にその取組が波及することを期待する。	A	工夫して書いているノートの紹介を行い、ノートのまとめ方の向上を図る。
○学び合う場の設定を工夫する。 (児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	話し合う人数、時間を調整したり、話し合いたいくなる題材を設定したりするなど工夫した。	A	学び合いの授業は、児童が慣れていないため難しさもあるが、教員も同じで研修を積み重ねることが望ましい。	A	次年度も今年度と同様の取組を継続する。
○ICT機器を有効活用する。	肯定的な自己評価を行った教職員は、昨	A	環境整備のおかげで教職員にも活用の意	A	次年度もICT機器を研究授業等に活用

	年度は50%であったが、今年度は80%を超えた。環境整備を進めたことで、積極的に使おうという意識が高まった。		欲が出てきている。今後も活用方法をさらに推し進めてほしい。		師、誰もが気軽に活用できる環境を整えていく。
--	--	--	-------------------------------	--	------------------------

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆個別指導によるきめ細やかな指導(配信プリント活用、放課後活用)

◇個の興味・関心・意欲、実態に応じた指導を行う。

- ・配信システムの活用
- ・支援員との連携・活用

○配信プリントをレディネステスト・復習に活用する。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	授業だけでなく、家庭学習にも効果的に活用することができた。	A	配信プリントの効用についてその使い方やメソッドについて教員全体で意見交換する場がほしい。配信プリント廃止は教員の負担を増すのでやめてほしい。	A	次年度の配信プリントの県予算配当が微妙なものがあると聞く。本校のプリント活用は大変積極的であり、成果も上がっている。是非、今年度と同様の配信プリントシステムを継続してもらいたい。
○特別支援教育支援員・学力向上支援員の積極的な活用を図る。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	子どもの実態に応じて活用した。にこにこサポートティーチャーも積極的に子どもたちと関わることができた。	A	支援員の配置は、一人一人のきめ細かい指導を可能にしており、引き続きの配置が望まれる。	A	にこにこサポートティーチャーについては、次年度も配置されるように要望する。

◆言語活動の充実と思考力・判断力・表現力を高める指導(学校図書館活用教育)

◇読書指導の充実を図る。

- ・選定図書の実践の推進
- ・家読の奨励

○選定図書読破を推進する。(選定図書読破90%以上)	ほぼ毎月完読者の表彰と図書館便りへの名前の掲載を行ったことで、それを目標	B	読書指導は、児童に意欲の差があり大変難しい問題である。本の紹介にとどまら	B	・図書委員会が本の紹介を行う際、選定図書も何点か取り入れる。
----------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------	---	--------------------------------

	に取り組む児童もいた。しかし、自主的に読む児童とそうでない児童の差があるため、新たな手立てが必要である。		ず、読んだ感想を発表する会の開催を企画していただきたい。		・「〇月中に〇冊読もう」のように、各学級や個人の目標を示す。
○家庭との連携を図り、家読を推進する。(家読月1回以上実施率80%超を目指す)	学級単位での取組のみであった。学校全体で取り組めるよう、図書館担当を中心に計画を進める必要がある。	C	家読を推進するには、家読の意義を親が認識することが肝要である。親の協力を求める必要がある。	C	・長期休業中に家庭で取り組めるよう、家読を宿題の1つに提案する。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇言語活動の充実を意識した授業を行う。

- ・学校図書館活用教育の充実
- ・表現活動の工夫

○図書館を活用した授業を行う。(学期に1回以上は実施する)	どの学級も実施できた。資料を教室に置くことで調べたい時にすぐ手に取ることができ、図書資料を使って調べようとする姿が多く見られた。	A	図書館の活用は、すべての教科で実施されて申し分ない。授業以外で図書館に足を運ぶ児童が増えることを期待する。	A	今後も図書館活用を継続していく。
○学習の成果を表現する活動を取り入れる。(新聞・リーフレット・ポスター・プレゼン等)(担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	様々な活動で、表現する活動を取り入れた。1つの方法に絞らず、内容や発達段階に応じて表現方法も工夫することができた。	A	自分なりの表現をする活動は、将来、児童に役立つのでできるだけ多くの場数を踏ませてほしい。	A	求められている学習技能の一つと捉え、今後も積極的に取り組んでいく。

#### ◆外国語活動の充実

◇ALT、中学校英語担当者との連携を図り、外国語活動への興味・関心を高める。

○中学校英語担当者との連携した授業を行う。(学期に1回以上は実施する)	2学期中学校英語担当者に6年生外国語の授業を参観していただき、その後協議も行った。5年生は行っていない。	B	5年生は行われていないが、中学校英語担当者の参観を受け、協議もされた。今後5年生にも行っていただきたい。	B	3学期は中学校担当者による授業を1回行って連携を図ることとしている。
-------------------------------------	--	---	--	---	------------------------------------

○ALT、市教研外国語部会と連携した授業を行う。	2学期に本校6年生の外国語活動を市教研外国語部会の教員に公開し、協議を行った。ALTと各担任は授業前に十分な打ち合わせを行って授業に臨んだ。	A	ALTとの打ち合わせを十分にとられたことはすばらしい。今後も継続していただきたい。今後は、5年生でも、担当者の参観を受け、協議をする機会を持っていただきたい。	A	今年度同様に、積極的に連携を図りながら児童の興味関心を高める授業に取り組む。
--------------------------	--	---	---	---	--

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆特別支援教育の充実

◇一人一人を大切に特別支援教育の推進を図る。

○特別支援学級や支援学級に在籍する児童への理解教育を計画的に行う。(理解教育を学期に1回以上実施する)	交流学习及び共同学習の年間計画を作成した。それに基づいた学習を行い、理解教育に努めた。	A	計画の善し悪しによって理解度が違ってくるので、今後もハロウィンなどの企画をされ、より良い計画を進めていただきたい。	A	次年度も年間計画を作成し、計画的に理解教育を行う。
○支援の必要な児童の個別の支援計画を作成し、指導に生かす。(個別の支援計画の作成)	対象となる児童の個別の支援計画を作成し、評価、修正を行った。	A	児童一人一人に合った支援計画を作成し、実行された。今後も全職員の共通理解を深め、推進していただきたい。	A	次年度も個別の支援計画を作成し、きめ細かな支援を行っていく。

(2) 豊かな心の育成に努める。

◆元気に楽しく過ごせる学校生活(生徒指導)

◇認め合い、支え合う集団づくりを行う。

○一人一人が自己存在感を感じる学級づくりを行う。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す) ○学級経営案に具体策が示され継続して取り組む。(学級経営案の反省)	具体的な学級経営案を作成し、自己存在感を感じる学級づくりや、一人一人が生かせる学級づくりができた。	A	職員80%、児童84%の肯定的な評価で、児童が学校生活を楽しんでいる。自信を持って計画を作成し見直しをしながら進めていただきたい。	A	学級経営案を年度初めに作成し、見直しも途中で行う。
--	---	---	---	---	---------------------------

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇なかよしアンケート・Q-Uアンケート・心の健康チェックをもとに、教育相談を実施する。

○学期1回の「心のアンケート」月1回の「心の健康チェック」の実施を行い、児童の実態把握に努め、教育相談を行う。 (担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	様々な手法で児童の実態把握に努めた。 必要に応じて、共通理解を図りながらチームで対応にあたった。	A	肯定的評価は92%で目標に達しているが、「心の健康チェック」が1回も行われなかったのには特別の理由があるのでしょうか。この点は不十分だと思う。	B	今後も定期的なアンケートや教育相談を計画的に行い、児童の実態把握に努める。
--	---	---	---	---	---------------------------------------

◇児童理解において共通理解を図る。

○職員会議で、「桜江っ子を語る会」を開き、児童理解に努める。 (担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	毎週月曜日の職員会議では必ず「桜江っ子を語る会」を開き、児童理解に努めた。	A	自己評価では85%であり、概ね達成されている。毎週職員会議の場で話されているが、共通理解を図る時間の確保が難しいとあるように、時間に追われている面も見える。今後も楽しく桜江っ子を見守っていただきたい。	A	継続的に取り組む。
---	---------------------------------------	---	--	---	-----------

◆基本的な生活習慣の確立（あいさつ、返事、言葉づかい、履物揃え）

◇全教職員が共通理解を図りながら、指導を継続する。

○基本的な生活習慣の確立を目指した生活目標を設定して子どもたちの意識の向上を図る。 (児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	運営委員会、担当教員が一斉下校の時間を利用して働きかけることで、児童の生活目標に対する意識の向上を図ることができた。	A	細かいところに、共通理解ができていなかった点もあるが、静かに教室移動ができたり、他の学年の児童に注意をしたりして、目的が達成されている。今後も継続していただきたい。	A	今後も児童会と連携を図り継続して意識の向上を図る。
--	--	---	--	---	---------------------------

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇児童会活動を中心に、児童が企画・運営する場を設定する。

○委員会活動等で、児童自身が取り組むように支援する。 (児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	委員会活動、児童総会等で、児童自身が主体的に取り組む姿が数多く見られた。	A	6年生を中心に自ら取り組む委員会活動の意識は高まりつつある。自主的に取り組むには難しい面もあるが、より工夫して取り組んでいただきたい。	A	今後も、児童一人一人が活躍できるように、計画書や司会原稿などを書かせていく。
--	--------------------------------------	---	---	---	--

◆地域の素材の活用(ひと・もの・こと)(ふるさと教育)

◇ふるさと教育を推進し、地域の素材の活用を図る。

○生活科、理科、社会科、総合的な学習と関連した地域学習をする。(全学年学期に1回以上、地域学習の実施)	年間計画に基づいた地域学習を各学年が積極的に取り組んだ。	A	各学年が生活科、理科、社会科、総合的な学習と関連した地域学習を地域講師を積極的に導入して行ったことで肯定的な評価が100%だったことはすばらしい。今後も継続して取り組んでいただきたい。	A	次年度も豊富な地域のひと・もの・ことを積極的に学習に取り入れていく。
---	------------------------------	---	--	---	------------------------------------

(3) 人権・同和教育の推進を図る。

◆一人一人を大切に教育(人権・同和教育、道徳教育)

◇自尊感情を育てる人権・同和教育の実施する。

○児童による人権集会を開き、人権意識を高める。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	小学校単独、小中学校合同の人権集会、各学級の取組等を重ねることで児童、教職員の人権意識を高めた。	A	人権週間に校内で「こころの集会」を開き、具体的な内容で話し合いをしたり、中学校と合同で「さくらえっ子集会」を行って人権に関する取組を発表したりするなど人権意識を高めたことはすばらしい。また、児童、保護者の「誰とでも仲良くした」の肯定的評価が高かったこと	A	次年度も、計画的に集会に取り組む。桜江小学校人権宣言を年度当初に児童共に確認する。
---	--	---	--	---	---



			も成果の表れだと思う。		
○各教育活動に、人権・同和教育上の視点を設定し、指導する。（担任からの聞き取り）	全ての教育活動の根底に人権・同和教育上の視点を意識しながら、一人一人を大切に教育活動に取り組んだ。	A	日頃の指導に加え、3学期に人権・同和教育を視点として、各学級で授業を公開され、保護者と共に考えられたことは評価できる。それゆえ、保護者も学校が「一人ひとりを大切にする教育に努めている」と肯定的な評価をしていると思われる。	A	次年度の人権・同和教育に視点をあてた公開授業を1学期に行い、年間を通した指導を行う。
○資質を高める職員研修を計画的に実施する。（人権・同和教育研修会を学期に1回以上実施）	校内での研修会、授業研究会と共に、市全体で取り組む研修会に教職員が積極的に参加し、研修を深めた。	A	校内での研修会、県内での研修会、県外での研修会等に積極的に参加され、資質を高めるよう努力されたことは評価できる。	A	資質を高める研修会を積極的に開催していく。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇素直な気持ちを育む道徳授業の充実を図る。

○重点項目においての体験活動と関連させた道徳の時間を実施する。（児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す）	各学級では児童の心に響く道徳授業に取り組むことができた。しかし、重点項目と体験活動を関連させることは難しかった。	B	重点項目と体験活動を関連させることは難しかったようだが、人権標語を用いたり、児童が道徳の授業を「道徳の勉強でいろいろなことを考えた」と肯定的にとらえていることは評価できる。来年度は重点項目と体験活動が結びつくことを計画して実施されることを望む。	B	全体計画、年間指導計画を再チェックし、重点項目に関連できる体験活動は何かを担当が意識する機会を設ける。
○「ありがとう」「ごめんね」の気持ちのもてる資料を活用する。（児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%）	道徳の授業資料では、重点的に取り組み、多くの児童が意識している。	A	道徳の授業や人権標語を用いての指導により、「ありがとう」「ごめんね」が言える肯定的な評価が児童、保護者ともに高くなっていることは日常の指導の成果	A	桜江小学校人権宣言について、発達段階に応じて取り上げることで、さらに児童の意識を高めていく。

超を目指す)			の表れだと思う。		
--------	--	--	----------	--	--

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

(4) 健康で安全な生活に努める。

◆子ども自身の健康管理能力の向上（早寝・早起き・朝ご飯・メディアとの適切な関わり）

◇小中の連携を図り、生活リズムのアンケート等を通して、実態を把握し指導に生かす。

○生活リズムチャレンジ週間の“早寝・早起き・朝ごはん”の実施率を向上させる。（アンケート集計達成率 80%以上）	今年度は、委員会活動を中心に取り組み、生活リズムチャレンジ週間を設けなかった。	C	“早寝・早起き・朝ご飯”をお便りやお話で、児童や保護者に周知されていたのは良かった。ただ生活リズムチャレンジ週間を実施されなかったのは残念である。来年度は児童にしっかり意識づけて、自主的な取組を期待する。	C	児童に実践力をつける取組を進める。
○学級だより・学級懇談会等を利用し、保護者への啓発を行う。（保護者・教師アンケート肯定的評価 80%以上）	保健だより、給食試食会を通して、保護者への啓発活動に取り組んだ。	A	学校だより、学級だより、給食試食会、食育だより等で保護者への啓発活動をしっかりされたことは評価できる。	A	さらに啓発活動の機会がないか探っていく。

◇中学校との連携のもと、月1回のノーメディアデーの実施に努める。

○ノーメディアデーへ継続して取り組ませる。（ノーメディアデーの実施率 70%を目指す）	継続的にノーメディアデーの取組を行い、児童の意識を向上させることができた。	A	中学校の情報教育講演会に、5・6年生が参加するなど、メディアの意識を高め、ノーメディアデーの取組が定着してきていると思う。	A	次年度も取組を継続する。80%の達成率を上げるための方策を探る。
---	---------------------------------------	---	---	---	----------------------------------

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇毎日の給食の教材化を図り、食の学習ノートと教科を関連させた指導を実施する。

○家庭との連携を図りながら、食の自己管理能力をつける。 (食の学習を学期に1回は実施する)	毎日の給食を教材とした食育に全教職員で取り組んだ。食の学習ノート、食育日より、桜江っ子のまめな君便り、さくラッキーの朝ごはんランチョンマット、朝GOはんウィークで保護者を啓発し、連携を図った。	A	栄養教諭を中心に給食を教材として、全教職員で積極的に取り組まれたことは、大変評価できる。さらに試食会や食の学習ノート、お便り等で家庭との連携を図られたことはすばらしい。	A	今後も児童に実践力をつける取組を継続する。
--	--	---	--	---	-----------------------

◆限られた時間を有効に使っての体力づくり(バス通学との兼ね合い)

◇全校遊び等、外遊び(体育館での活動も含む)の働きかけをする。

○運営委員会が、屋内外での全校遊びの計画をし、推進する。 (学期に1回以上実施を目指す)	全校遊びは、学期に1回実施することができた。	A	運営委員会が屋外での全校遊びの計画をし、学期に1回実施され、異学年との交流が深まったことは評価できる。さらに体力作りに見合った全校遊びの実施を期待する。	A	異学年との交流が深まり、楽しく活動できた。より体力作りに見合った全校遊びを計画し、外遊びの働きかけを続ける。
---	------------------------	---	--	---	--

◇自分から進んでめあてをもって体力づくりに取り組める場を設定する。

○毎週火曜日の朝マラソン(雨天時は長縄飛び)を継続して実施する。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価80%超を目指す)	子ども達は、一生懸命に時間いっぱい走り、継続して実施することができた。	A	朝マラソンの成果の場としてマラソン記録会を開いたり、朝なわとびの時間を設けるなどして児童が目標を持って取り組める活動ができている。児童の肯定的な自己評価も高い。	A	取組を継続する。
○児童が目標を持って取り組める活動を支援する。(児童の自己評価・担任の自己評価で肯	朝マラソンの成果の場としてマラソン記録会を開いた。なわとび集会に向け、朝なわとびの時間など使って一生懸命にな	A	毎週火曜日の朝マラソンを継続して実施され、児童も達成感を持てたことは大変評価できる。今後も継続して体力作り	A	取組を継続する。

定的評価 80%超を目指す)	わとび練習している。		努めていただきたい。		
----------------	------------	--	------------	--	--

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆学校・通学路の安全指導と点検（危機管理）：避難訓練

◇安全対応能力の向上のための指導ポイントを明確にして危機管理に努める。

○学期ごとの避難訓練、年1回引き渡し訓練を実施し、安全対応能力の向上を図る。（児童の自己評価・担任の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す）	今年度は初めて児童クラブとの合同避難訓練を実施した。各訓練では、もしもの時の動きを柔軟に考え、動くことができた。	A	児童クラブとの合同避難訓練を実施したことは大変評価できる。	A	次年度も連携をとりながらの避難訓練を継続する。引き渡し訓練は、引き渡しをしなければならない状況をより具体的に想定したものにしていく。
--	--	---	-------------------------------	---	--

◇校外での危険箇所について実際に確認する。

○地域の危険箇所の一覧等を活用し、児童の安全意識を向上させる。（1学期中に危険箇所対策済箇所の点検をする）	教育委員会、保護者と連携しながら、地域の危険箇所の確認を行い、共通理解を図った。	A	危険箇所の確認を教育委員会、保護者と連携しながら行えたのは大変よい。	A	さらに児童の意識を高めるために、地域児童会で毎回危険箇所を児童に聞いたり、伝えたりする。
○徒歩、スクールバスでの登下校の安全指導を行う。（児童の自己評価・教員の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す）	運転手さんと情報交換をしながら、定期的に教員がバスに同乗して安全指導に取り組んだ。徒歩児童については、必要に応じて教員と一緒に歩き、安全指導に取り組んだ。	A	スクールバスの運転手さんとの情報交換や徒歩児童の安全指導がとてもよくされている。	A	継続して登校下校指導を生徒指導部中心にして行う。朝の登校時玄関にて、一斉下校時徒歩通学班の確認を行う。

◆心のケアとや相談活動の充実（不登校対応、保健室対応、SC活用）

◇支援の必要な児童や気になる児童について、全職員で共通理解し、連携して対応する。

○生徒指導職員会議を計画的に開き、情報を共有する。(児童の自己評価・教員の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	突発的なことに対して対応できたが、計画して開くことはできなかった。	B	生徒指導職員会議を定期的を開いてほしい。	B	ケース会議を計画的に行うこととする。
○支援の必要な児童については、職員朝礼、桜江っ子を語る会、生徒指導職員会議等で情報を共有する。(教員の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	生徒指導主任が中心となって、支援の必要な児童、気になる児童についての共通理解を積極的に図った。	A	教職員の負担が増えると思うが、支援の必要な児童の指導を大変熱心にしており、評価できる。	A	必要な支援を検討するためにケース会議を積極的に開催し、全職員で連携して対応にあたる。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇共感的理解に基づく教育相談活動を行う。

○SCや専門機関へ相談し問題の改善を図る。(児童の自己評価・教員の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	特別支援コーディネーター、養護教諭が中心となって、専門機関、SCと連携をしっかりと図ることができた。	A	専門機関やSCと連携をしっかりと図ることができたことは、大変評価できる。今後も早期の対応をお願いしたい。	A	今後も専門機関と連携を深め、支援を仰いでいく。
○カウンセリングマインドをもって児童や保護者と面談を行う。(児童の自己評価・教員の自己評価で肯定的評価 80%超を目指す)	組織として児童、保護者と関わることができた。コミュニケーションを高める研修会に積極的に参加した。	A	研修に積極的に参加したことは高く評価できる。今後もしっかりと続けてもらいたい。	A	コミュニケーション能力の向上を図る校内研修会を企画する。

#### (5) 家庭・地域社会との連携と信頼関係づくりに努める。

##### ◆外部評価を通しての改善

◇運動会や学習発表会など学校行事のアンケートを実施し、成果と課題をまとめる。

○H26 年度学校評価を上回る肯定的評価を目指す。(保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%以上)	学校行事後のアンケート結果をしっかりと公表できた。その中で、保護者からの疑問や改善策等に答えることもできた。	A	学校行事後のアンケートをきちんととり、結果もしっかり保護者に伝えている。	A	次年度は、今年度の結果を生かした学校行事のあり方を検討していく。
--	--	---	--------------------------------------	---	----------------------------------

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆情報発信（学校だより「生徒指導」のコーナーを設ける、学級だより、ホームページ）

◇学校、学級の取組がよく分かる学校便り、学級だよりを発行する。

○H26 年度学校評価を上回る肯定的評価を目指す。(保護者アンケートの肯定的評価 80%以上)	定期的な学校だよりの発行と毎週発行される学級だよりでは、行事や学級の様子をしっかりと伝えることができた。	A	学校だよりはきちんと定期的に発行され、学校の様子がとても良く分かる。	A	学校だより、学級だよりの定期的な発行スケジュールは今年度と同様とする。
---	--	---	------------------------------------	---	-------------------------------------

◇必要な情報や子どもたちの様子が分かる情報をホームページで発信する。

○H26 年度学校評価を上回る肯定的評価を目指す。(保護者アンケートの結果より評価)	6 月からリニューアルしたホームページでは、学校の様子だけではなく、行事予定やお知らせをタイムリーに紹介できた。	A	ホームページの更新は大変手間がかかると思うが、滞りなく更新してほしい。	A	保護者や地域の方が定期的に閲覧したくなるホームページ作りを今後も継続していく。
--	--	---	-------------------------------------	---	---

◆積極的な学校開放（授業公開日、地域交流）

◇授業公開日は、保護者、学校関係者に早めに案内する。

○授業、懇談会、講演会など日程ともに内容を充実させる。(保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%以上)	保護者には早めに案内をすることができたが、学校関係者への送付が遅れがちであった。	B	アンケート結果の高い肯定的評価からでもわかるように、学校が保護者はもちろん、地域の方々に対して、授業や講演会などを前向きに公開しながら参加を促していることは高く評価できる。案内について、若干遅れ気味という点は否めない	A	保護者と同時に関係機関、学校関係者への周知を一つの流れとして実施していく。
--	--	---	--	---	---------------------------------------

			が、本年度、小学校のHPがリニューアルされ、行事予定や案内文書なども公開、さらにDLできることから、今後は、こういった情報発信手段も効果的に活用することも検討してほしい。28年度より本格的に動き始める川戸地区地域コミュニティ等との連携・交流等も視野に入れながら、従来から取り組まれている保小中との合同開催なども積極的に展開されることを期待したい。		
○意見・感想を掌握し、反映・反省に努める。(保護者・地域アンケートの肯定的評価80%以上)	保護者からの意見、感想を集約し、共通理解を図った。	A	保護者や地域の方々の意見集約、分析、評価等を継続して実施しながら、次年度にスパイラルアップされていることは評価できる。今後は学校と保護者、さらに地域や行政との交流・連携をさらに強化していく必要もあることから、貴重な意見や感想などのデータを系統だて、しかも、有効の使える仕組みの構築ができると、積極的な学校開放による取組が実効あるものになるのではないかと思う。	A	今後も継続する。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇ふるさと教育連絡協議会と連携し、地域交流を深める。

○保・小・中の連携を図り、学校運営に活かす。(保護者・地域アンケートの肯定的評価)	必要に応じて、保育園、中学校と連携をとりながら学校運営ができた。	A	隣接する保育園児と小学生、また中学生との交流連携については、福祉体験学習や5歳児交流会などを通じて効果的に実	A	今後も密な連携を継続する。
---	----------------------------------	---	--	---	---------------

80%以上)			<p>施されているところであり、大変意義深いと思う。今後はさらに企画から計画～実施ののち、関係者合同での反省、分析～今後の取組などについて協議検討できるような仕組みが構築できれば、このテーマの目的とする開放的な学校運営ひいては地元住民の意識の高まりとともに、学校を核とする地域の連携交流を深めていくことにつながっていくのではないかと思います。</p>
<p>○ふるさと教育連絡協議会と連携し、地域の人が参加しやすい行事や催し物をするとともに情報発信に努める。（保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%以上)</p>	<p>地域交流で必要な時にスクールバスを活用する際には学校教育課、また予算的な措置が必要な場合は社会教育課や桜江支所等と連携、支援して頂きながら地域交流を深めることができた。</p>	<p>A</p> <p>年間を通じて、学校行事へ地域の方々が参加する活動が展開されているようで、様々な関連機関と連携協力関係を結びながら、地域交流が広く、そして気軽に楽しく行われることに期待したい。またそういった取組もせっかくならば、公民館（今後は地域コミュニティ？）や行政などの協力を得ながら広く地域住民に情報発信されると、より多くの参加者があるのではないかと思います。また、素晴らしくリニューアルされたHPなどで公開されると良いのではないかと思います。ふるさと教育にしてもキャリア教育にしても、今、なぜそういった取組をするのか、なぜ必要なのかを適切かつスピーディーに伝えていく必要があるように思う。</p>	<p>A</p> <p>次年度も学校教育課、社会教育課、桜江支所等と連携しながら地域交流を深めていきたい。</p>



成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

(6) 教育環境整備と美化に努める。

◆花と緑のある潤いに満ちた環境

◇教室や、廊下の掲示を工夫する。

<p>○児童の学習の様子が分かり、ぬくもりのある掲示や環境整備を行う。(児童・教員・保護者・地域アンケートの肯定的評価 80%以上)</p>	<p>学習や生活の内容が分かるような掲示に努め、定期的に変えるようにした。廊下や中庭、校舎周りに常時、花や緑がある環境整備に努めた。</p>	<p>A</p>	<p>子どもたちの学習の様子などを掲示物等で確認できることは非常に嬉しい事で、先生方のご努力の賜物だと思う。よく分かり、なかには、ほどよいぬくもりはもちろん、感動モノの掲示物もあった。また、地域住民諸団体と子どもたちの取組事業なども掲示されることがあり、子どもたちが学校を核とした地域とともに育み育てられているんだという認識をあらためて持つことが出来る。また、HPの「最近のトピックス」はその日その日の学校の様子がわかるとともに、時折更新されるトップ画面のスナップ写真を見るたび、素晴らしい環境で学校生活を送る子どもたちのことが目に浮かぶ。校舎内外には花や緑も飾られ、環境整備面、安全面においても適切な配慮がなされていると感じている。</p>	<p>A</p>	<p>まだ、十分でない掲示板も見られ、引き続き定期的に変えられるよう工夫を行う。</p>
--	--	----------	---	----------	--

◇清掃活動を充実させる。

<p>○清掃のめあてを作成し、児童に学校をきれいにしようという気持ちを持たせる。(児童・</p>	<p>学校をきれいにしようとする気持ちを持つことができた。12月の実施の調査では、教職員肯定評価86%であった。</p>	<p>A</p>	<p>大半の子どもたちは協力的かつ積極的に清掃、そして、手伝いをしている様子が伺える。上級生が率先して作業をする姿</p>	<p>A</p>	<p>掃除を始める前に縦割り班でめあてを確認してから行うこととする。</p>
--	--	----------	---	----------	--

保護者アンケートの肯定的評価 80%以上)			を見て、下級生の子どもたちも同じように取り組む姿は見ていて微笑ましく、年齢を重ねるごとに素晴らしいリーダーシップ能力ができていのだとつくづく感心することもあった。ただ、一部の子どもは悪ふざけかまじめに作業、掃除ができない子どももいるのだが、それを適切に注意できる子どもがいればなお良いと思う。		
-----------------------	--	--	--	--	--

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◆備品の有効な活用と整理整頓

◇備品を計画的に購入し、有効活用する。

○備品購入計画を立て、計画的に購入する。(教員アンケートの肯定的評価 80%以上)	備品購入計画を立て、計画的に備品を購入し、学校教育に役立てることができた。ただし、職員への周知が遅れがちであった。	B	備品等の購入については、肯定的アンケート結果が他の項目に比べて低いことからわかるように、市(教育委員会)の予算が大きく影響することは否めないものの、やはり必要な物は必要であり、優先順位を付けつつ、市に対して強力に要請することも必要ではないかと考える。	B	備品を購入した時には、教職員に周知を図り、計画的に購入が進んでいることを示していく。
○教職員全員で備品点検をし、台帳との照合及び保管場所の共通理解をする。(教員アンケートの肯定的評価 80%以上)	本校の備品点検システムの周知が不十分であった。周知を図るために、3学期に備品点検を行っていく。	B	備品等の運用管理は、本来の業務とは一線を画する事から疎かになりがちであるものの、財政事情が苦しい市の予算を使って購入された備品であろうから、その運用管理は適切にすべきと思われる。実態がわからないので、なんとも言いよう	B	必要に応じて、早めの点検作業を行い、教職員に周知していく。

			がないが、評価資料の肯定的評価の低さや考察を読む限り適切に運用されているようには思えない。改善の余地があるように思う。	
--	--	--	---	--

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

◇学習にふさわしい環境づくりをすすめる。

○エコ環境づくりに全校的に取り組む。(児童・教員アンケートの肯定的評価 80%以上)	電灯の消灯を意識したり、古紙やより安価な印刷機の利用を促進したりして、エコ環境作りに全校で取り組んだ。	A	現代社会においてエコに対する取組は重要であり、子どもの頃からそういった取組を、また学習を通じて展開することは意義があると思う。エコ推進活動は、工夫次第で様々な取組ができ、また、効果が目に見えてくれば、さらに、弾みがついたように展開していくので、学校全体、地域全体で取り組んでいただきたいと思う。	A	さらなる照明、暖房機、水道、ガス等の節電、節約に努める。
○定期的呼びかけ、整理整頓をする。(児童・教員・保護者アンケートの肯定的評価 80%以上)	整理する重点箇所を示し、全教職員で分担しながら整備に取り組み、見違えるように使いやすくなった部屋が増えた。	A	大人の社会においても、整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・そして、作法の6Sが叫ばれているものの、なかなかできていないのが実情であるが、それを子どもたちに見せ、感じさせ、考えさせて、子ども自身が整理、整頓をすることの大事さを認識してくれれば素晴らしいことだと思う。	A	今後も年度ごとに重点整備箇所を示し、整理整頓に取り組んでいく。

成果指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
	達成状況	評価	考察	評価	

(7) 保育所・小学校・中学校3者が連携した教育に努める。(中学校卒業までメンバーがかわらない)

◆小中合同職員会開催

◇計画的に小中合同職員会議を開催する。

○お互いに協力しながら、部会活動に取り組む。(教員アンケートの肯定的評価80%以上)	年間計画に基づきながら、部会活動に取り組むことができた。教職員の意識の向上を図る必要がある。	B	小中合同会議職員会議は必要な事で、今後も継続して開催をして頂きたい。出来れば、毎学期毎に開催の検討をしてほしい。	B	次年度も今年度と同様に部会活動に協力しながら取り組んでいく。桜江の子どものための連携という意識を育てる連携のあり方を探っていく。
--	--	---	--	---	--

◆保小連携(園児・児童・生徒、職員同士)

◇計画的に保育園との連絡会に取り組む。

○低学年担任を中心に、保育園と連絡を取り合う。(教員アンケートの肯定的評価80%以上)	管理職、特別支援教育コーディネーターが中心となって、毎学期各保育園に行き、連絡を重ねている。3学期は低学年と保育園の交流会を計画している。1学期の小保連絡会の必要性がある。	B	保小連絡会を、定期的に開催をお願いする。今後も保育園と小学校の交流を継続して頂きたい。	B	1学期の早い時期に、本校で保小連絡会を開催する。
---	--	---	---	---	--------------------------

◆小中連携

◇計画的に小中連絡会を開催する。

○高学年担任を中心に、中学校と連絡を取り合う。(教員アンケートの肯定的評価80%以上)	定期的に連絡を取り合うことはできなかった。12月の実施の調査では、教職員肯定評価63%であった。	C	今後は年度初めに小中連絡会の計画をして、連絡会の開催をお願いしたい。	C	年度初めに1, 2学期の小中連絡会の日時を決定することとする。
---	--	---	------------------------------------	---	---------------------------------